

# 第20回大会

平成11年8月4日、5日

那須野ヶ原カントリークラブ／男子36校・女子15校



前年の悔しさをバネに男子は大阪桐蔭（大阪）が通算7オーバー439で、女子は創部4年目の東海大二（熊本）が通算1オーバー433とともに初の栄冠に輝いた。

初日を終え、男子は昨年4位の大阪桐蔭（大阪）と東海大二（熊本）が218で首位を並走。2打差の3位に3年振り2度目のVを狙う沖学園。91年～93年の日本荏原（東京）以来の3連覇の快挙を狙う前年覇者・水城（茨城）は9打差の8位と出遅れた。最終日、混戦を抜け出したのは大阪桐蔭だった。エースの波当根春道（3年）に代え、1年生の森本雄也（1年）を大抜擢、期待にこたえチームベストの73を叩き出す。谷田亮（3年）、好川耕司（3年）もそろって74をマーク。「森本の起用が勝負だった。選手たちの成長が勝因です」と井上尚彦監督の言葉通り、チーム内の競走意識が初優勝へと導いた。東海大二は初日から一転、全員がスコアを伸ばすことができず4位。沖学園も追撃及ばず3打差の2位、水城は初日の出遅れが影響して3位入賞がやっとだった。

女子は東海大二の圧勝だった。初日から首位をキープし、2位の埼玉栄（埼玉）に13打差をつけての初優勝。昨年、春日丘（はるひがおか、愛知）に逆転され2打差の2位に泣いた雪辱を同じメンバーできっちりと果たして見せた。「去年と同じメンバーだから、今度は初日からダントツで勝つことが目標」とキャプテン・松村瞳（3年）以下、メンバー全員がリベンジに燃えていた。世界ジュニア代表の成田いづみ（2年）が初日、最終日ともに70と連日のアンダーパーでチームを引っ張ると、松村も74、73をマーク。前年の個人戦女王・柴垣綾花（2年）とエース格の古閑美保（2年）も下馬評通りの強さを見せた。まさに全員でつかんだ栄冠だった。10年振り2度目の優勝を狙った埼玉栄はキャプテン・桜井裕華（3年）が最終日の前半、32の好スコアをマークしたものの後半崩れ、2位。2連覇を目指した春日丘は5位に甘んじた。



## ◇男子成績

### ①大阪桐蔭（大阪） 439（218・221）

谷田 亮③ 146（72・74）  
好川 耕司③ 147（73・74）  
杵本 晃一② 152（73・79）  
森本 雅也① —（—・73）  
波当根春道③ —（80・—）

### ②沖学園（福岡） 442（223・219）

甲斐慎太郎③ 141（70・71）  
中村 興市③ 147（75・72）  
杉原 拓① 154（78・76）  
勇 賢悟③ 159（81・78）

### ③水城（茨城） 445（227・218）

金沢健太郎③ 148（75・73）  
斉藤 大将③ 149（76・73）  
村上 史晃③ 151（79・72）  
高山 之賀② 157（76・81）

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| ④東海大二(熊本) 447(218・229)   | ②④東京学館浦安(千葉) 468(233・235) |
| ⑤明德義塾(高知) 449(232・217)   | ②④滝川二(兵庫) 473(238・235)    |
| ⑥佐野日大(栃木) 449(225・224)   | ②④愛工大名電(愛知) 473(235・238)  |
| ⑦埼玉玉(埼玉) 452(234・218)    | ②④恵庭南(北海道) 474(235・239)   |
| ⑧瀬戸内(広島) 452(220・232)    | ②④東海大四(北海道) 476(240・236)  |
| ⑨P.L.学園(大阪) 454(229・225) | ②④京都学園(京都) 477(243・234)   |
| ⑩香川西(香川) 456(236・220)    | ②④広陵(広島) 478(240・238)     |
| ⑪日体荏原(東京) 456(234・222)   | ②④立正(東京) 479(245・234)     |
| ⑫埼玉栄(埼玉) 456(231・225)    | ②④星陵(静岡) 479(248・231)     |
| ⑬平安(京都) 456(224・232)     | ②④千葉日本一(千葉) 480(249・231)  |
| ⑭柳川(福岡) 460(229・231)     | ②④中京商(岐阜) 483(230・253)    |
| ⑮春日丘(愛知) 461(225・236)    | ②④久居(三重) 485(239・246)     |
| ⑯厚木北(神奈川) 464(231・233)   | ②④日大一(東京) 487(243・244)    |
| ⑰仙台育英(宮城) 464(227・237)   | ②④稲取(静岡) 495(246・249)     |
| ⑱福島(福島) 465(235・230)     | ②④法政二(神奈川) 504(249・255)   |
| ⑲日大高(神奈川) 466(237・229)   | ②④駒場学園(東京) 514(258・256)   |
| ⑳札幌光星(北海道) 467(234・233)  |                           |

## ◇女子成績

### ①東海大二（熊本） 433（218・215）

成田いづみ② 140（70・70）  
柴垣 綾花② 146（74・72）  
松村 瞳③ 147（74・73）  
古閑 美保② 150（75・75）

### ②埼玉栄（埼玉） 446（224・222）

桜井 裕華③ 146（73・73）  
下村まゆみ② 148（74・74）  
高橋友希子① 153（77・76）  
村上奈津子③ 153（78・75）

### ③香川西（香川） 452（226・226）

高松 聖③ 148（75・73）  
蔭山 友美③ 150（75・75）  
吉田 藍子② 154（76・78）  
喜井 幸与③ —（—・81）  
杉原 良実② —（78・—）

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| ④熊本中央女(熊本) 454(227・227) | ⑩仙台育英(宮城) 487(241・246) |
| ⑤春日丘(愛知) 462(233・229)   | ⑪東北(宮城) 490(246・244)   |
| ⑥滝川二(兵庫) 473(237・236)   | ⑫佐野日大(栃木) 501(245・256) |
| ⑦北海道工(北海道) 483(241・242) | ⑬稲沢女(愛知) 510(259・251)  |
| ⑧武蔵野(東京) 483(248・235)   | ⑭厚木北(神奈川) 522(272・250) |
| ⑨堀越(東京) 485(247・238)    | ⑮京都学園(京都) 565(288・277) |

※名前の中の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、同4人の合計スコアで順位を決定する。さらに同数の場合は、初日のチームスコアで順位を確定